CASBEE横浜[戸建] 評価結果 31-034

■使用評価マニュアルCASBEE-戸建（新築）2016年版　■バージョンCASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.3

1-1 建物概要

建物名称	諏訪坂018③ No.2	
竣工年月	2019年6月	竣工
建設地	神奈川県横浜市鶴見区諏訪坂2305番1の一部	確定
用途地域	第1種低層住居専用地域	
省ｴﾈﾙｷﾞｰ地域区分	6 地域	
構造・構法	木造/在来工法	確定
階数	地上2階建て	
敷地面積	110.60 ㎡	確定
建築面積	51.75 ㎡	確定
延床面積	99.36 ㎡	
世帯人数	4	仮

仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
	持ち込み家電等	仮
	外構の仕様	一部確定
<備考>		
評価の実施日	2019年6月10日	
作成者	蔭山 さつき	
確認日	2019年6月17日	
確認者	蔭山 さつき	

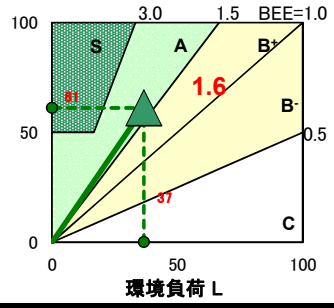
1-2 外 観

外観パース等

2-1 戸建の環境効率（BEEランク&チャート）

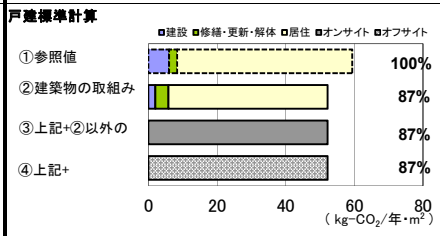
BEE =1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C:



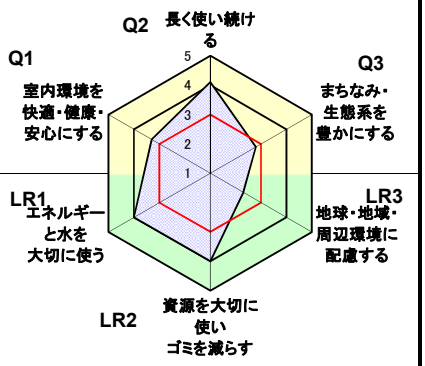
2-2 ライフサイクルCO2（温暖化影響チャート）

~0%: ☆☆☆☆☆ ~50%: ★☆☆☆☆ ~75%: ★★☆☆☆ ~100%: ★★☆ 100%超: ★



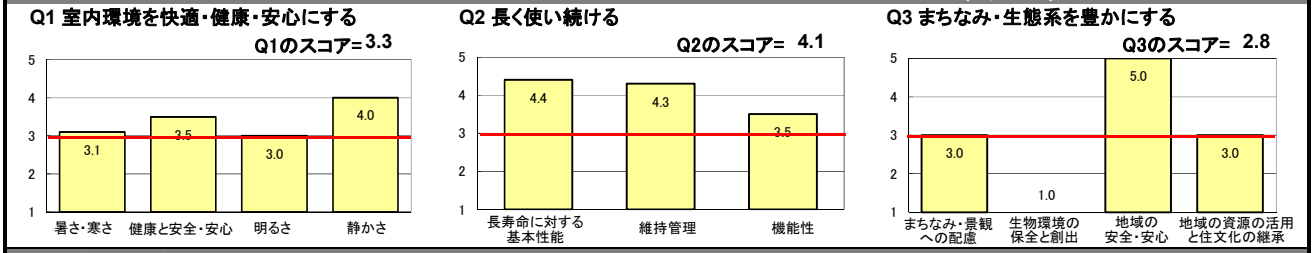
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価（レーダーチャート）

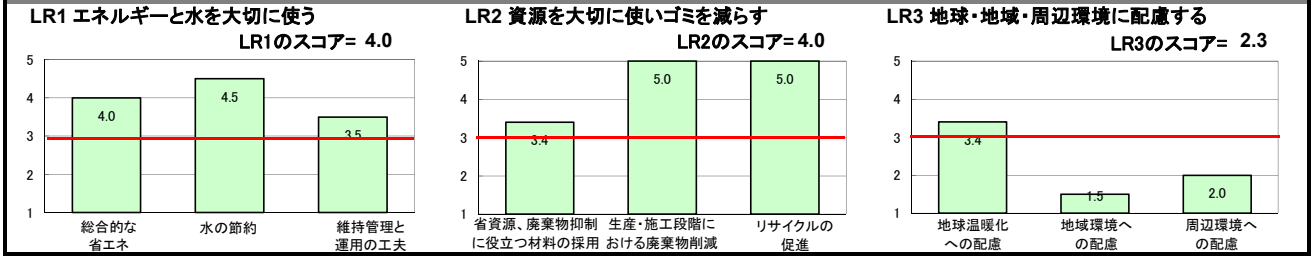


2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　Q のスコア= 3.4



LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.5



3 設計上の配慮事項

総合

耐震等級3、省エネルギー等級4を満たして、環境性能を高めている。また、長期優良住宅の認定も取得し、将来にわたり安心してお住まいいただける住宅としている。

その他

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

全てのガラス面に遮熱 LOW-Eガラスを採用し、断熱等性能等級4、一次エネルギー消費量等級5を取得することによって、快適に過ごせるよう、配慮している。また、玄関2ロック、窓サッシ補助錠付きとすることで、安心して過ごせるよう、配慮している。

Q2 長く使い続ける

劣化等級3を満たすよう、耐用年数の長い建材を選定している。また、維持管理のしやすいように外配管設計とし、定期的にメンテナンスを行えるよう、配慮している。

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

建物の高さ、形状、色彩を統一し、街並みの調和を図っている。

LR1 エネルギーと水を大切に使う

節湯型機器を台所、浴室に、食器洗浄機を台所に設置し、トイレの便器に節水型便器を使用することで、省エネに配慮している。

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

外装、内装、外構の一部にリユース材を使用している。また、パワービルド工法を採用することで、プレカット時のロスを軽減している。

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）

4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。　　建物名称　諏訪坂018③ №2

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving　重点項目への取組(5点満点)　【省エネルギー性能】　3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量　11　%削減

一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日　2019年6月19日

■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

①BEIが0.9以下

②ガスコンロ省エネ基準達成率100%以上。

③取り扱い説明書＋かしこい住まい方ガイドを説明。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community　重点項目への取組(5点満点)　【健康・安心】　5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4　　(相当)

④レベル4を超える水準の断熱等性能を満たす。全てのガラス面に遮熱LOW-Eガラスを採用(日射侵入率0.32)。

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策等級3を満たす。

⑤玄関2ロック＋窓サッシ補助錠付き。

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無　　あり

⑥主要な居室において、二方向に開口部がある、または一方向開口でも通風・排熱を促進する取組みがなされている。

防災への配慮 (R) Resilience　重点項目への取組(5点満点)　【防　災】　5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑧劣化対策等級3を満たしている。サイディング金物工法を採用。耐用年数は約40年。

コロニアル葺き。耐用年数30年。耐火等級3(開口部以外)を満たす。

長期優良住宅の定期点検計画、住宅履歴システム(プロパティオン)登録。

⑨敷地内通路500mm以上確保。境界は軽量フェンス(添付資料参照)。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape　重点項目への取組(5点満点)　【地域・まちづくり】　2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

⑩建物高さ、形状、色彩を統一し、全体調和に配慮。室外機は道路から目隠し。

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
――――	
エネルギーマネジメントシステム導入	
―　　―	

CASBEE横浜[戸建] 評価結果 31-034

CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
諏訪坂018③ No.2

バージョン ： CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート

配慮項目		重点項目		評価点	重み係数	全体
Q_H すまいの環境品質				-	-	3.4
Q_H1 室内環境を快適・健康・安心にする				–	0.45	3.3
1 暑さ・寒さ				3.1	0.50	3.1
1.1 基本性能				4.8	0.50	-
	1 断熱等性能の確保	健康・安心	④暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
	2 日射の調整機能	健康・安心	④暑さ・寒さ	4.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ				2.0	0.25	-
	1 風を取り込み、熱気を逃がす			3.0	0.50	-
	2 適切な冷房計画			1.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ				1.0	0.25	-
	1 適切な暖房計画			1.0	1.00	-
2 健康と安全・安心				3.5	0.30	3.5
2.1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑤健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画		健康・安心	⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える		健康・安心	⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える		防　災	⑦災害に備える	3.0	0.25	-
3 明るさ				3.0	0.10	3.0
3.1 昼光の利用				3.0	1.00	-
4 静かさ				4.0	0.10	4.0
Q_H2 長く使い続ける				–	0.30	4.1
1 長寿命に対する基本性能				4.4	0.50	4.4
1.1 躯体		防　災	⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材				4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根				4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える		防　災	⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える				3.0	0.20	-
	1 火災に耐える構造			3.0	0.65	-
	2 火災の早期感知			3.0	0.35	-
2 維持管理				4.3	0.25	4.3
2.1 維持管理のしやすさ				4.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制				5.0	0.35	-
3 機能性				3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り				3.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応				4.0	0.50	-
Q_H3 まちなみ・生態系を豊かにする				–	0.25	2.8
1 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑩まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出				1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化		地域・まちづくり	⑪生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保		地域・まちづくり	⑪生物環境の創出	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心		防　災	⑨地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承				3.0	0.20	3.0
LR_H すまいの環境負荷低減性				-	-	3.5
LR_H1 エネルギーと水を大切に使う				-	0.35	4.0
1 総合的な省エネ				4.0	0.75	4.0
1.1 躯体と設備による省エネ		省エネルギー性能	①建物の工夫	4.2	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ		省エネルギー性能	②設備の性能	3.0	0.10	-
2 水の節約				4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備				5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用				3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫				3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示		省エネルギー性能	③維持管理と運用	4.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御		省エネルギー性能	③維持管理と運用	3.0	0.50	-
LR_H2 資源を大切に使いゴミを減らす				–	0.35	4.0
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用				3.4	0.60	3.4
1.1 構造躯体				3.0	0.30	-
	1 木質系住宅			3.0	1.00	-
	2 鉄骨系住宅			3.0	-	-
	3 コンクリート系住宅			3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎				3.0	0.20	-
1.3 外装材				5.0	0.20	-
1.4 内装材				3.0	0.20	-
1.5 外構材				3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減				5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)				5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)				5.0	0.33	-
2.3 施工段階				5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進				5.0	0.10	5.0
3.1 使用材料の情報提供				5.0	1.00	-
LR_H3 地球・地域・周辺環境に配慮する				–	0.30	2.3
1 地球温暖化への配慮				3.4	0.33	3.4
2 地域環境への配慮				1.5	0.33	1.5
2.1 地域インフラの負荷抑制				2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全				1.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮				2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減				1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善				3.0	0.50	-